

とんぼつり
今日
けふはどしよまで
行ったやら(千代女)



とんぼつり…女流俳人・加賀千代女
(かがのちよじよ一七〇三丁一七七五)
作と伝えられています。代表作は「朝
顔につるべ取られてもらい水」

トンボを追いかけて
まだ帰ってこないのは
男の子ですか？女の子ですか？



男の子？女の子？答は言つまでもありませんね。

では、人形を与えて抱きしめるのはどっちでしょう。

これも子供を育てたお母さん方によっては愚問でしょう。男の子は女の子と対称的に、人形の手足をもいだりする「分解・分析癖」があることもお母さんは知っています。

言語能力が早く発達するのは女の子です。

そして女性は男性より言語コミュニケーション能力がきわめて高いと言われています。男と女は生まれた時から性質が違います。大自然が与えた男女の違いを認め、お互いに補い合い、尊敬し合うのが真の「男女平等」というものだと思われは考えています。

正しい男女平等とは何でしょう？

平安時代、ゴツゴツした漢字を嫌い、漢語がわかっていても、その知識をひけらかすのをはしたくない事と考え、和言葉とひらかなを愛したのは女性です。ひらかなは「女文字」と言われていました。世界広しといえども、女言葉とともに「女文字」をもった文化は日本にしかありません。これがもともになって、鎌倉時代に「漢字かな混じり文」が生まれます。

ひらかなの発明と普及がどれほど日本の文化を高め豊かにしたかは言うまでもありません。これは男性原理と、たおやかな女性原理との見事な結びつきといえるでしょう。

男女の「らしさ」を生かし、補い合ってきたのが日本の文化です。私たちはこの「生かし合い」の伝統的男女平等をめざします。

■家を守り、子供を育てるといふ人生最高の創造的な仕事で

ある「専業主婦」の価値観を認めない「ジェンダーフリー

思想」に私たちは強く反対しています！

■人間の尊厳を破壊し、家庭と社会のモラルを崩壊させるジ

ェンダーフリー・過激な性教育にストップを！

私達は「男女共同参画社会」ではなく「男女協力社会」と呼びたい！

健全な男女共同参画社会を
めざす会